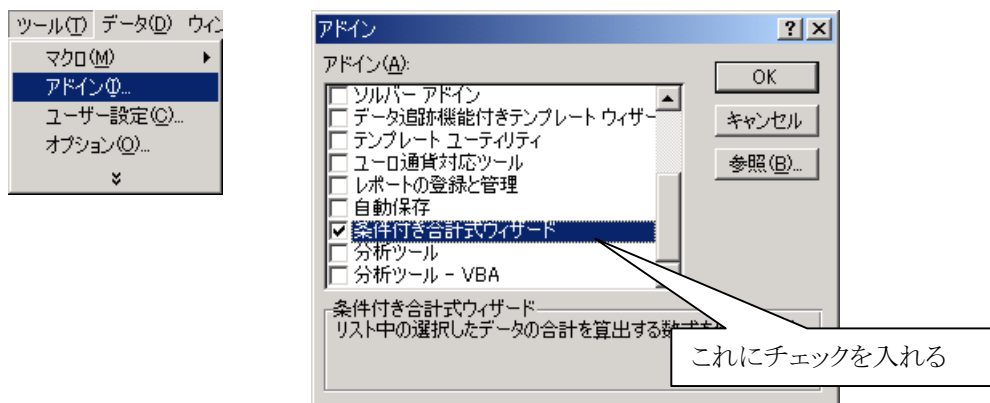


Excel で条件付合計式ウィザードを活用して複雑な合計を求める

Excel で、たくさんのデータの中から条件に合うデータのみ取り出して、その合計を求めたいというケースは良くあると思います。関数に詳しい人なら直接数式を作成することもできますが、自信のない人でも「条件付合計式ウィザード」を活用すると複数の条件を満たすデータの合計なども簡単に求めることができます。今回はこのウィザードの使い方を紹介しましょう。

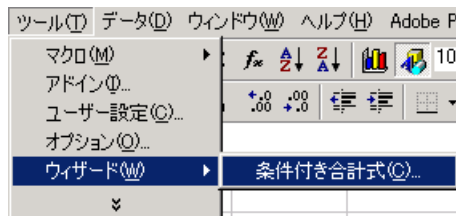
1. 「条件付合計式ウィザード」を有効にする

- ① 「ツール」メニューから「アドイン」を選択し、表示される「アドイン」ダイアログの「条件付き合計式ウィザード」にチェックを入れて「OK」をクリックします。



2. 「条件付合計式ウィザード」を使用する

- ① 「ツール」メニューから「ウィザード」→「条件付き合計式」を選択します。



- ② 「条件付き合計式ウィザード - ステップ 1/4」では合計を求めたいデータが格納されている範囲を指定します。

条件付き合計式ウィザード - ステップ 1/4

リスト中の(ほかの)値を基に、列の特定の値の合計値を求める数式を作成します。

地域	コード	売上合計	
北部	小売り	¥41300	¥41300
東部	卸売り	¥16600	
北部	小売り	¥53800	¥53800
北部	卸売り	¥23000	
			+ ¥95100

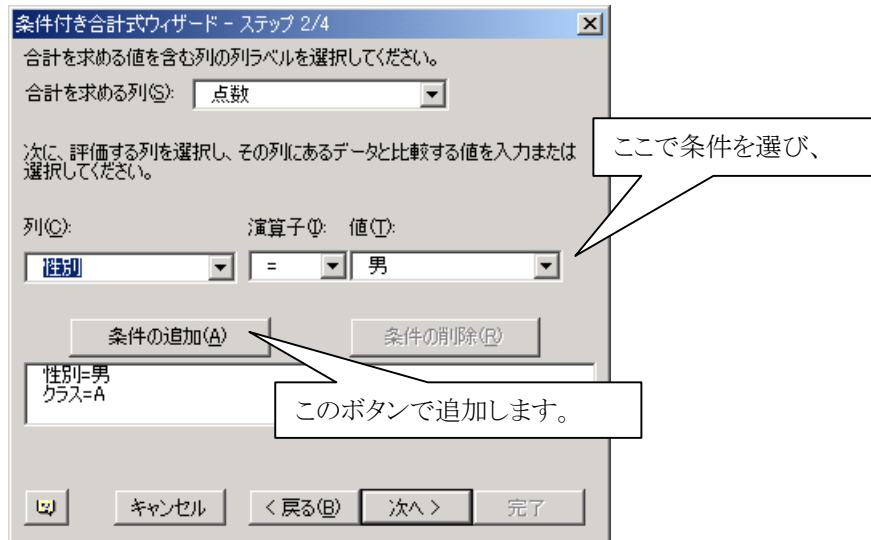
合計を求める値を含むリスト (列ラベルを含む) を指定してください(W):

Sheet1!\$B\$3:\$E\$15

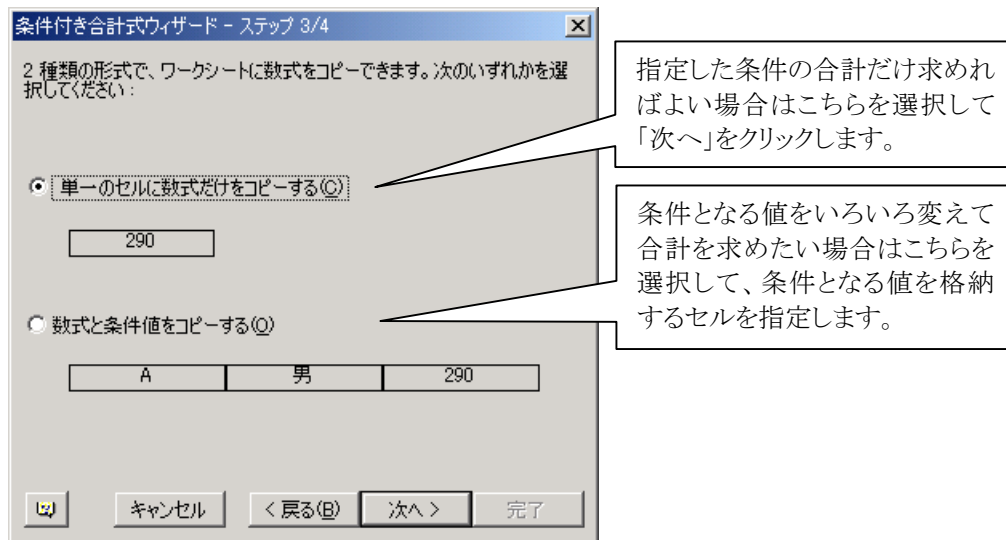
ここをクリックしてから、ドラッグで範囲を指定します。

キャンセル <戻る(B) 次へ> 完了

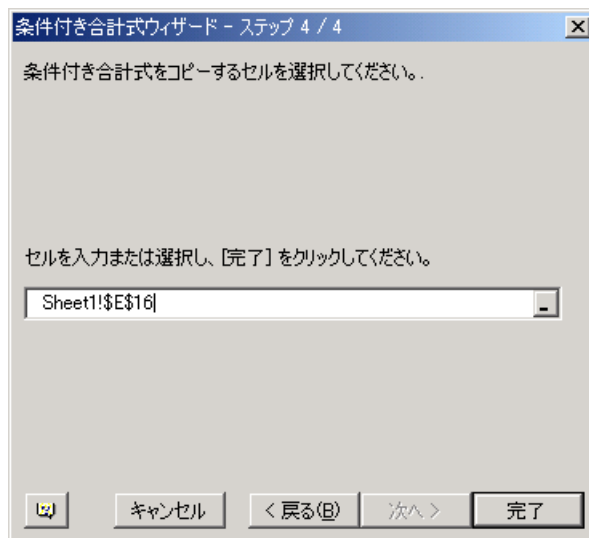
③「条件付き合計式ウィザードステップ 2/4」では、合計を求める対象とするデータの条件を指定します。条件は複数指定することができます。全ての条件を指定し終わったら「次へ」をクリックします。



④「条件付き合計式ウィザードステップ 3/4」では、数式をコピーする形式を選択します。



⑤「条件付き合計式ウィザードステップ 4/4」では、合計を求めるセル（数式が格納されます）を選択し、「完了」をクリックします。



⑥以上でウィザードは完了です。以下のように合計が計算されます。

E16		= {=SUM(IF(\$C\$4:\$C\$15="A",IF(\$D\$4:\$D\$15="男",\$E\$4:\$E\$15,0),0))}									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1											
2											
3		NO	クラス	性別	点数						
4		1	A	男	70						
5		2	A	男	60						
6		3	A	女	50						
7		4	A	男	90						
8		5	A	女	100						
9		6	A	女	80						
10		7	A	男	70						
11		8	B	女	60						
12		9	B	女	50						
13		10	B	男	80						
14		11	B	男	90						
15		12	B	女	90						
16					290						
17											

ステップ 3/4 で「単一のセルに数式だけをコピーする」を選んだ場合の例。

E17		= {=SUM(IF(\$C\$4:\$C\$15=C17,IF(\$D\$4:\$D\$15=D17,\$E\$4:\$E\$15,0),0))}									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1											
2											
3		NO	クラス	性別	点数						
4		1	A	男	70						
5		2	A	男	60						
6		3	A	女	50						
7		4	A	男	90						
8		5	A	女	100						
9		6	A	女	80						
10		7	A	男	70						
11		8	B	女	60						
12		9	B	女	50						
13		10	B	男	80						
14		11	B	男	90						
15		12	B	女	90						
16											
17			B	女	200						
18											

ステップ 3/4 で「数式と条件値をコピーする」を選んだ場合の例。

この部分の条件値を変えると、その条件に応じた合計値が計算されます。